生産性向上に向けたプレキャスト工法選定マニュアルを原則適用化します

1. マニュアルの概要

従来の経済比較に加えて、安全性・省人性などの項目を考慮するVFMの考え方を用いて、工法選定を行います。

2. VFMのイメージ

従来の経済比較

評価項目	間知ブロック	大型ブロック
経済性	5,400千円	7,700千円
評価	採用	▲

経済性に優れる間知を採用

VFMを用いた比較

評価項目	配点	間知ブロック		大型ブロック	
経済性	60点	5,400千円	60点	7,700千円	40点
定量的評価	24点	省人化 ▲ 安全性 ○	9点	省人化◎ 安全性◎	24点
定性的評価	16点	書類削減等 ▲ 出来栄え ▲	0点	書類削減等◎ 出来ばえ◎	16点
合計		69点		80点	
評価		▲		採用	

経済性以外の項目も点数化し、大型ブロックを採用

3. 基本的な運用イメージ

- 工法選定フローで【現場打ち】or【プレキャスト】を決定
  ※ブロック積工の場合、【間知ブロック】or【大型ブロック】
- 工法選定フローにより【個別検討】となる場合は、VFM　を用いた【個別検討】で現場打ちかプレキャストを選定。

4. ブロック積工の工法選定フロー

